

新「共通特論 I」：臨床腫瘍学総論 がんの疫学と予防

講義日：2023年5月20日（土）

講師：宮代 勲（大阪国際がんセンター がん対策センター 所長）

要旨

がん対策基本法の規定に基づき策定する都道府県計画であるがん対策推進計画の策定や進捗評価には、罹患率や生存率等の根拠となる統計数値が必要である。大阪府は昭和37年から住民ベースのがん登録を継続しており、がんを中心とした生活習慣病に関する全国初の専門施設である大阪国際がんセンター（旧称：大阪府立成人病センター）設立時に設置されたがん対策センターが、がん登録をはじめとするデータを収集・分析し、大阪府と連携して総合的ながん対策を推進する役割を担う。

第3期大阪府がん対策推進計画（2018-23年度）では、基本理念として「がんを知り、がん予防を進めるとともに、がんになっても心身ともに適切な医療を受けられ、安心して暮らせる社会の構築」を掲げ、「がん死亡率の減少」と「がん罹患率の減少」、「がん患者や家族の生活の質の確保」を全体目標としている。がん登録データ活用の観点から、がん対策を一緒に考える機会としたい。

（401文字）